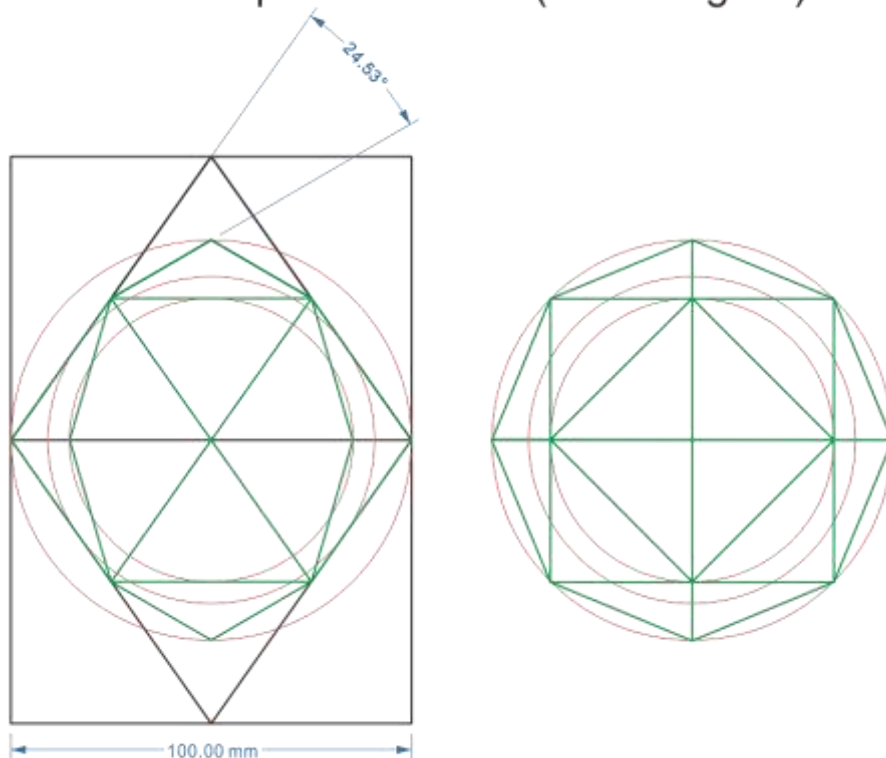


## A.Sharp の立体(4)

中川宏

シャープの立体 No.4 は、立方八面体の正方形面に、側面二等辺三角形4枚からなるピラミッドを6つ貼り付けた立体である。したがって、正三角形面8枚、二等辺三角形面24枚、合計32面体となる。

Sharp's solid No.4(32 triangles)



右の投影図は、正八角形・正方形・正方形が入れ子になった美しいものである。すべての頂点が外接球に載るように設計されている。

私が作る際には、左図のように正八面体を中間形として、その頂点周りを、正三角形の辺の中点を通り24.53度の傾きを持つ平面で切り取った。その構想に当たっては龍谷大学の山岸研究室にご協力いただいた。左側が山岸研究室の上木敬士郎さんに作っていただいた3D プリンター模型である。

